

Global Design Lecture & Seminar

Global Design Lecture 14:55-15:50 [講演：日本語]

「オープンガバナンスとは何か」

奥村 裕一（公共政策学教育部 公共政策学専攻・客員教授）

近年、デジタル時代を反映して、行政の持つデータを機械判読可能なオープンデータ形式で公開していく動きが内外で広がっている。世界で60カ国以上がすでに何らかの形でこれに取り組んでいる。日本では官民データ活用基本法が制定されてその動きが加速されてきている。日本の自治体では300強の自治体がオープンデータに取り組み始めている。しかしながらそのデータが公共的な課題の解決に活用されないと単なるエンジニアの趣味的活動に終わってしまう。

このギャップをどう埋めていけばよいのか、その現実と課題を幅広く議論する。

Global Design Seminar 15:50-16:40 [講演：日本語]

「錯覚の実世界実装」

河邊 隆寛（NTTコミュニケーション科学基礎研究所・主任研究員）

錯覚を利用した情報提示技術についてお話しします。

具体的には、変幻灯、浮像、Danswing papersを紹介します。

最後に、錯覚を実世界へ利用することのメリットとデメリットを議論します。

9月26日（水） 14:55～16:40
工学部3号館2階 GCLラボ

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)